

大同古代建築の古描

第一百七十六回
第十五輯八回

内容

大同東門の檐……………一
下華嚴寺の木彫……………二



- 華大寺の壁畫……………三
- 下華嚴寺の香爐……………四
- 華嚴寺内部の木彫……………五
- 善化寺の檐……………六
- 善化寺の梁……………七
- 善化寺の碑文……………八
- 下華嚴寺……………九
- 下華嚴寺の佛像……………十

記事

大同の文化を研めよ

森田富義

撮影

島崎役治

大連市山縣通り一九三

發行所 亞細亞寫真大觀社

(毎月一回發行)

電話②六二三五
振替大連七一八
版權所有 不許複製

編輯人 青山捨夫
 同 青山捨夫
 發行人 島崎役治
 大連市三河町二一
 印刷人 鈴木周哉
 發行所 亞細亞寫真大觀社



4
3

大同の文化を究めよ

森 田 富 義

支那事變に、皇軍が、山西省に兵を進めて以來蒙疆の地は一躍有名となり、大同の石佛も亦頗る有名になつて來た故に大同を語る者は雲崗の石佛を談じ珍奇とし、石佛を談ずる者は大同のよさを語る、だがそれらの人は何れも、雲崗の石佛は見るが、大同城を見てゐない感がある。大同城附近に雲崗があり、雲崗に石佛があると知るならば、その石佛の存する所以を究めてこそ、始めて大同石佛の眞價が判り、大同がその昔、如何なる地であつたかを知ることが出来るであらう。二三の考古學者や建築學者、のみが知つて置くべきでなく出来ることなら、大同にある人全体が知り、大同を訪ふ總ての人が知つてゐてもよいところである。一時的の金儲け根生や収入が多いから僻地の生活も暫く辛棒するのでは、切角の地も實質的には開拓されなれないと思ふ。だから、支那に職を求め、支那に生活の根據を置く者は先づ、その支那を知らねばならぬ、三千年の興亡史を總て詳細に知つて中學校の東洋史の先生になるには及ばないが、先づ、その土地の風習を知り、地理を知り、歴史を知ることが、その土地を文化的に開發し、住民を文化的に導く上に於ても非常に必要なことだと思ふ。さればこそ、大同に就て、再參、その史實を細く以所でれる。

昔し大同は北魏の首都であり、政治の中心として、學術、技藝の發達したところであつた。従つて學術と云へば佛教を聯想し、佛教と云へば學問と思ふてゐた時代では、何をかおも、佛教に關した學術技藝の發達したことはないなめないことである。だから、文成帝の興安二年に曇曜が、帝に進めて自ら雲崗に石佛を開鑿したと聞くが、大同城の佛教文化はそれ以前と見ても差支へあるまい。昔し大同には同舛、靈光、鎮國、護國、崇福、童子、能仁、華嚴、天宮、兜率の十寺があつたと云ふことである。今その寺の所在の云々に就ては知ることが出来ないが、現有する古寺としては上華嚴寺下華嚴寺、善化寺等があるが、その開基年代等は雲崗の石佛開鑿前後と見ても大した間違はなからうと思ふ。先づ、それら殘存せる古刹の建築様式から、内部の裝飾、安置せる佛像、壁畫等より見ると、北魏時代の風を思ふものが残つてゐる。北魏齋魯を物語る六朝佛、六朝文字の碑文、一千年前を物語る路傍の唐獅子等、語る人は残つてゐないが、歴としてその時代の技術なり藝術品が殘存してゐるのである。で大同に住む者は、これらを觀賞的とせず學術的に研究するか、口碑傳説的に保存するかして、その土地の史實を知る必要があるだらうと思ふのである。幸に皇軍占據以來藝術品の散逸を防ぐことに努力して、東洋の古代文化保存に任じてゐて呉れることは實に感謝の極みであるから、吾人は、勉めて大同文化を知ること努力し支那人の性情を知る具にしたものである。

大同東門

大同が千年前の支那北魏の都であつたことは、史家や、建築研究家や、考古學者に依つて評論に説明され、本社に於ても屢々寫眞を以つて説明したところである。寫眞はその古都の城壁に殘された東門の擔であるが、これは明時代の建築であつて、北魏齋魯時代の文化とともに時代の繁榮を知るこ

努力して、東洋の古代文化保存に任じてゐて呉れることは實に感謝の極みであるから、吾人は、勉めて大同文化を知ること努力し支那人の性情を知る具にしたがひものである。



大同東門の檐
(大同)

大同が千年前の支那北魏の都であつたことは、史家や、建築研究家や、考古學者に依つて評論に説明され、本社に於ても屢々寫眞を以つて説明したところである。寫眞は、古都の城壁に残された東門の檐であるが、これは明時代の建築であつて、北魏齋魯時代の文化とも明時代の繁榮を知ることが出来るのである。朽ち果て荒廢したこの僅の建物が、時代文化の發達を證明することを考へると、如何にしても原型保存の必要を感ずるであらう。(印畫の複製を禁ず)

(親大亞細亞)

4
3

華大寺の壁

(同 大)

大同華嚴寺の古建築と、佛像と、壁畫は有名なものであるが、わけて寫真に示す壁の佛畫は實に立派なものである。而してまた、天井四隅の組立方の巧妙なことは近代建築術の遠く考へも及ばないほど巧致に出来てゐる。この組立方を見た建築家は何れも讚嘆してゐると云ふことである。

(觀大亞細亞)

下華碑寺の木彫

(同 大)

寫真は大同下華碑寺の木彫佛像である。佛像は寺院の内部の壁に刻み込まれたもので、何れも名匠か名僧が刻んだものであらう。

(印畫の複製を禁ず)

(觀大亞細亞)



4
3



華大寺の壁畫

(同 大)

大同華嚴寺の古建築と、佛像と、壁畫は有名なものであるが、わけて寫眞に示す壁の佛畫は實に立派なものである。而してまた、天井四隅の組立方の巧妙なことは近代建築術の遠く考へも及ばないほど巧致に出来てゐる。この組立方を見た建築家は何れも讚嘆してゐると云ふことである。

(印畫の複製を禁ず)

(顯大亞細亞)

彫

(印畫の複製を禁ず)

木の部内寺嚴華

(同 大)

大同の華嚴寺は古刹として有名であるが、その建築と寺内の彫刻も、亦古文化を知るには考古の参考物的のものである。寫真では判然せぬところがあるが、實際に見る時は實に驚嘆に値する程の美術的技術が残されてるものである。一刀一刻、名匠の刀の跡が歴然残つてゐるのを見れば懐しい氣が起る。

(觀大亞細亞)

爐香の寺嚴華下

(同 大)

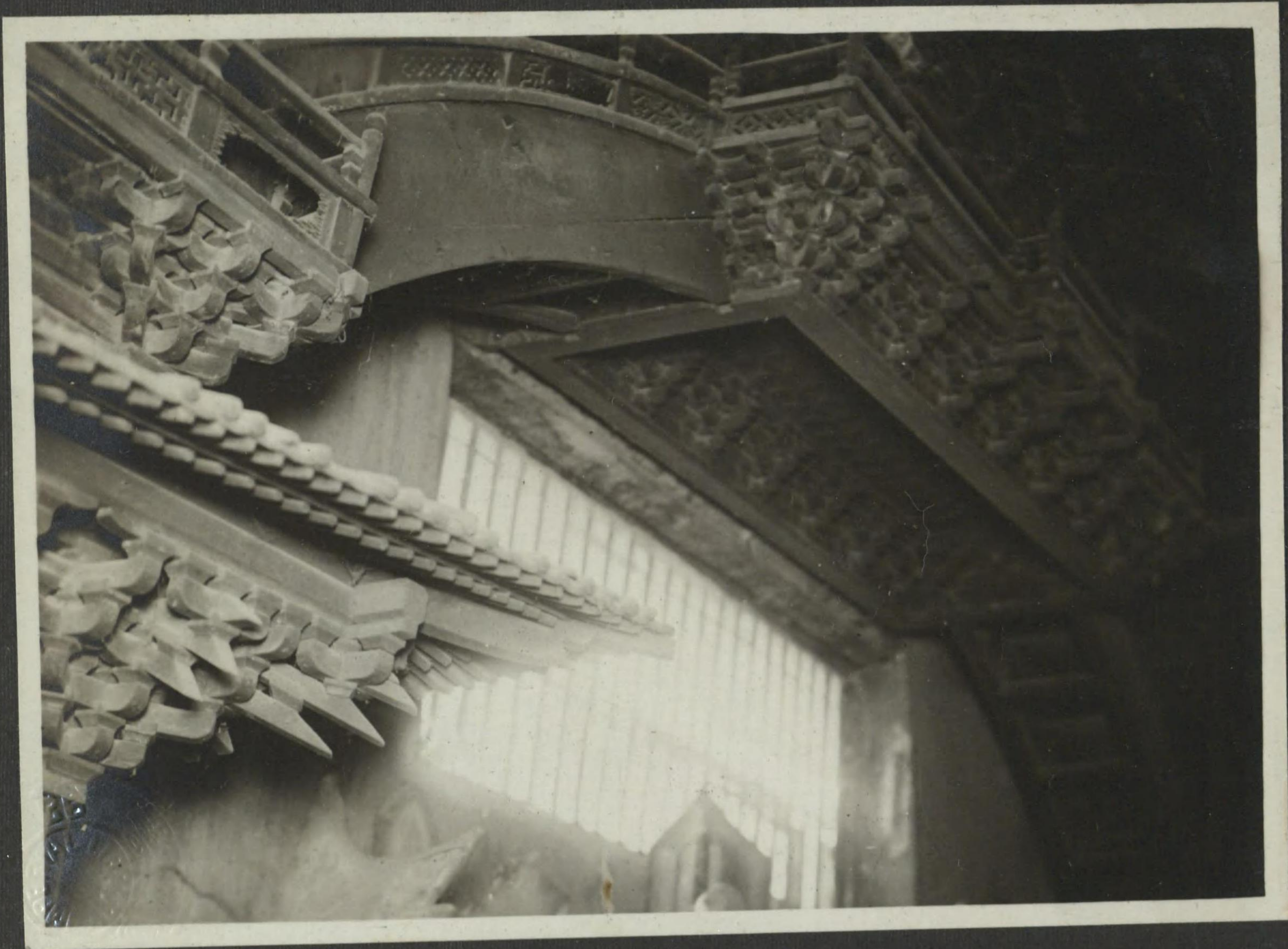
寫真は大同下華嚴寺の境内に置かれてある鐵の香爐である。一見する如く、香爐としては少し大き過ぎ小鐵塔とも見られるが實際は香爐である。何時、誰れの作かは別らないが鐵器時代の物であるから相當に古いものであらう、直ぐ後にある小塔の佛像も古いものらしい。

(印畫の複製を禁ず)

(觀大亞細亞)



4
3



彫木の部内寺殿華

(同 大)

大同の華嚴寺は古刹として有名であるが、その建築と寺内の彫刻も、亦古文化を知るには考古の参考物的のものである。寫真では判然せぬところがあるが、實際に見る時は實に驚嘆に價ひする程の美術的技術が残されてるのである。一刀一刻、名匠の刀の跡が匿然残つてゐるのを見れば懐しい氣が起る。

(印圖の複製を禁ず)

(觀大亞細亞)

如

(印畫の複製を禁ず)

善化寺の
大

大同善化寺が古い古刹であることは云ふまでもないが、この寺の檐の組立も亦東門の檐と同じく古いものである。遅拙な説明を書くよりも、この寫眞を見れば、その建築上の粋が伺へるだらう。

善化寺の
大

善化寺が如何に古刹で、善美を盡した建築であることは、この寫眞を見れば判然とするであらう。寫眞は寺内の梁の組立の精巧さと、梁木に刻まれ彩色された模様を示すものであるが、その善美と結構には、これほどの經費がかかつてゐるが相像出来ない。この立派な寺院に安置された佛像も亦得難い逸品ばかりである。

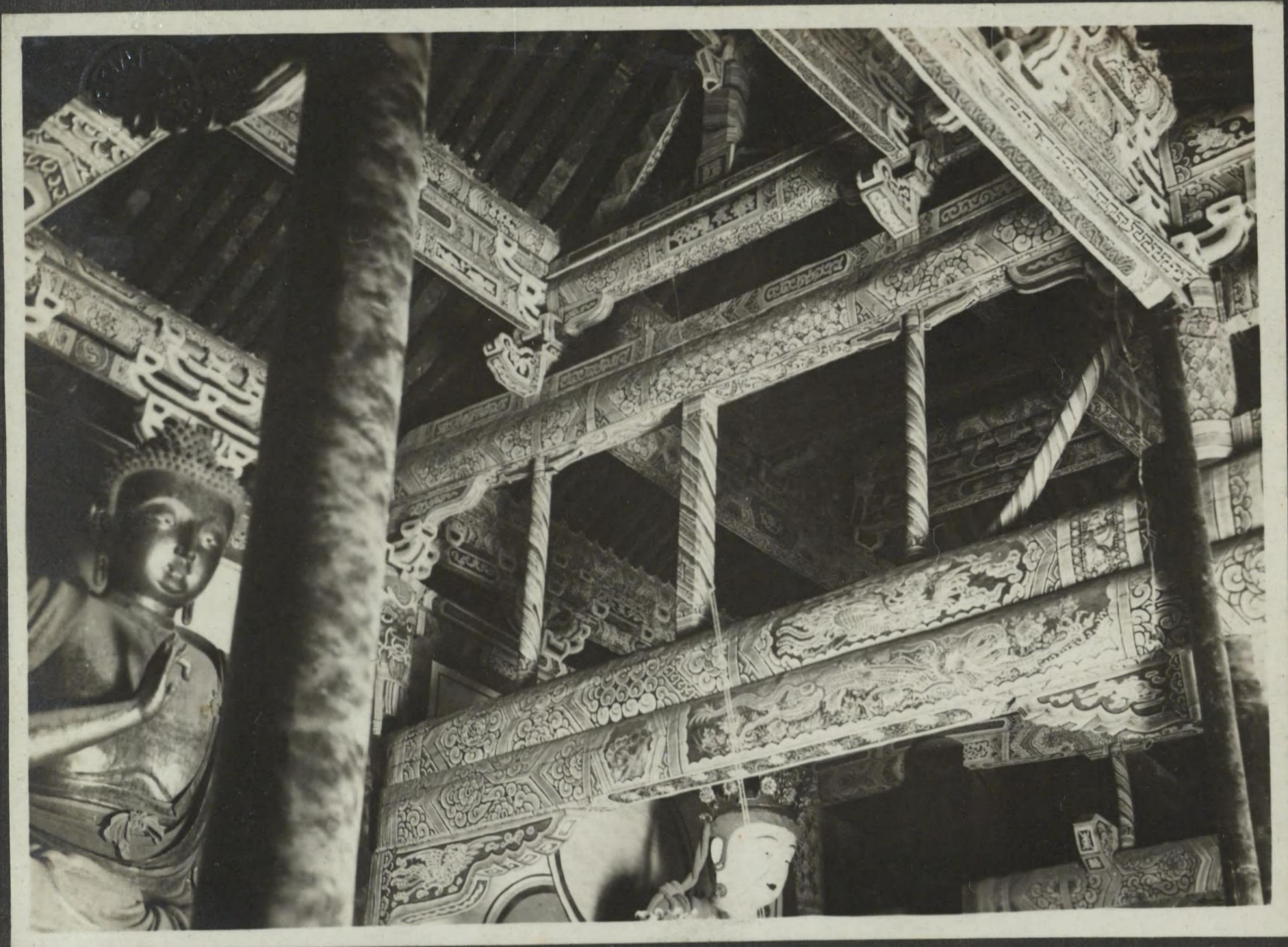
(印畫の複製を禁ず)



(觀大亞細亞)

(觀大亞細亞)

4
3



善化寺の梁
(同大)

大同善化寺が古い古刹であることは云ふまでもないが、この寺の檐の組立も亦東門の檐と同じく古いものである。遅拙な説明を書くよりも、この寫眞を一見すれば、その建築上の粹が伺へるだらう。

(印畫の複製を禁ず)

(觀大亞細亞)

檐

りである。

(印畫の複製を禁ず)



善化寺の文

(同大)

大同善化寺は古刹であるだけ古い由緒あるものが相當にある。寫眞は善化寺第一殿内に藏されてゐる碑文の一つであるが、書體から見て遼金時代の碑文に見たは誤りであらうか、

(印畫の複製を禁ず)

(觀大亞細亞)

下華嚴

(同大)

寫眞は大同下善化寺の前面の一部である。古刹らしい鏽のする寺院であつて、前面に掲げられた『簿伽教藏』『古刹重新』『慈恩普濟』等の匾額はそれぞれの由緒を物語つてゐる。

(觀大亞細亞)

4
3



寺 殿 華 下

(同 大)

寛真は大同下善化寺の前面の一部である。
古刹らしい鏽のする寺院であつて、前面に掲
げられた「簿伽教藏」「古刹重新」「慈恩普
濟」等の匾額はそれぞれの由緒を物語つてゐ
る。

(印畫の複製を禁ず)

(觀大亞細亞)

下華嚴寺の佛像

(大同)

大同にある古刹には得難い佛像が安置してある。これは下善化寺内の佛像であるが、佛教文化、即ち宗教藝術の所産として名僧が名匠の手になつた佛像であるが、その宗教藝術の精粹は、大同に訪て始めて知ることが出来る程發達したものである。その發達が千年の昔と思へば更に驚かざるを得ないのである。

(印畫の複製を禁ず)

(亞細亞大觀)

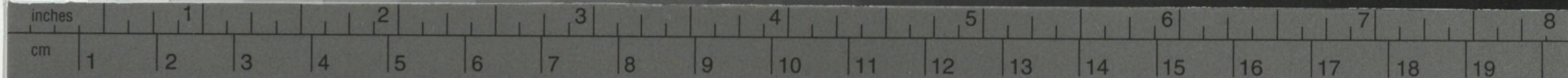


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

